



第1回のSSH通信となります。この通信では天草高校SSHの取組や成果をわかりやすくお知らせしたいと思ひます。今回は「地域課題を探究し解決策を提案する力」を身に付けることを目標とする学校設定科目「天草サイエンスI」(通称ASI)で行われた『天草学連続講義』と成果についてお知らせします。

第1回：天草の概要と企画戦略 (天草市役所総合政策部 平山高広様)

4月25日(火)に実施。天草市の人口推移や6つの政策の柱を教えてくださいました。最後には「天草外や海外の方々から天草を見たら何を魅力と感じるのだろうか」「今と変わらなくて良いものもあると思ひませんか」と問いかけられ大きな宿題を頂きました。



第2回：天草の水産業 (天草市役所水産振興課 深川南帆様)

5月2日(火)6限目に実施。天草の水産業は多魚種、多漁法といった特徴があることや、イカの産卵場所が少なくなっているため藻場の再生を行っておられることなどを教えてくださいました。また、天草の魚が熊本市内では多くのシェアを占めていることも教わりました。



第3回：天草の農業 (天草市役所農業振興課 山崎 剛様)

5月2日(火)7限目に実施。天草には米を中心とした兼業農家が多いことや、畜産農家は少ないが収益が多いこと。また、オランダが農作物の貿易黒字世界一であり、科学的な農法を取り入れられていることも講義してくださいました。



第4回：天草の自然活用 (DENSO 新事業開発部 小林孝幸様)

5月9日(火)6限目に実施。旧五和西中学校跡地にある天草営業所で、シュードコリスチスといった種の藻からバイオ燃料を抽出する研究がされています。藻からバイオ燃料だけでなく、化粧品や飼料など様々な展開がされているそうです。そのような藻の研究をするうえで、天草の自然や水などは最適な環境であることも教えてくださいました。



第5回：天草の起業 (Ama-biz センター長 内山 隆様)

5月9日(火)7限目に実施。起業に対する考え方を教えてくださいいただき、若い力で何でも挑戦する大切さを学びました。天草創生には地産地消のサイクル確立や、貿易黒字を意識することなどが必要であることも話してくださいました。



第6回：天草沿岸生態系の生物多様性 (九州大学 新垣誠司様)

5月16日(火)に実施。大学の授業などで使用される英語のスライドを用いて講義いただきました。天草の沿岸が特殊な地形であり生物も多種多様であることや、天草の海とインドネシアの海を実際に映した動画を見ながら温帯と熱帯の特徴について教えてくださいました。研究仮説を裏付けるためには、豊富なデータを用いなければならないことも生徒たちにとっては刺激的であったようです。最後の質疑応答の時間には「スキューバダイビングで調べる時間はどれくらいか」「大学では英語の講義ばかりなのか」などの質問が出ました。1年生にとって初めての大学の先生から受ける講義ということもあり、真剣にメモを取っていました。



第7回：天草と災害 (熊本大学 松田博貴様)

5月30日(火)に実施。どの地域でも起こり得る災害の種類と特性を学び、天草大水害等の過去に起きた災害を教えてくださいました。また、天草高校も周りを川に囲まれ、裏山が土砂災害危険区域に指定されている中に立地していることを知り、一気に防災に対する意識が高まりました。そして、高齢化が進む天草で大きな災害が起きた際に、私たち高校生の果たすべき役割は大きいことや、事前に自分の住んでいる地域の形状や特徴をまとめることの大切さを学ぶことができました。最後に「自然災害とどう向き合うのか」「私たちはどうすべきだろうか」と話され、普段から防災に対する意識を持つことが大事であることを学びました。

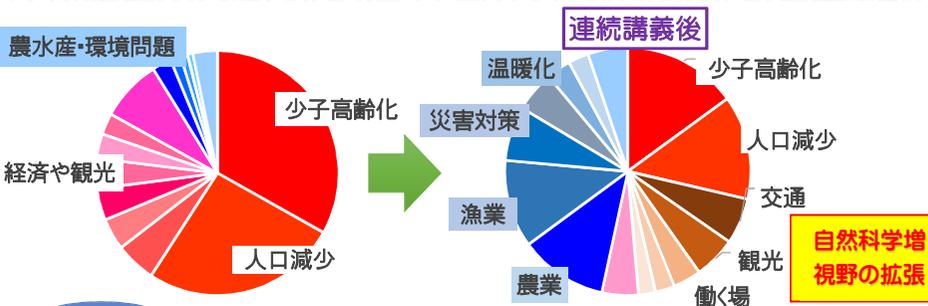


第8回：天草のドローン活用 (天草市役所総合政策部 多間田 誠様)

6月13日(火)に実施。天草高校のグラウンドにドローンが飛びました。操縦者の手元にあるタブレットに、ドローンで撮影されている映像が映っていたのですが、その美しさとリアルさに驚いている生徒もいました。講義の中では、ドローンの種類や現在考えられている活用法について教えてくださいました。天草市役所とANA、東京大学が連携して飛行実験を行っておられることなど、初めて知る事柄も多く、生徒たちは大いに刺激を受けました。



「天草の課題として知っているものを全て挙げてください」というアンケート結果集計



報道関係

●天草学連続講義の記事が、熊日新聞、読売新聞、朝日新聞、ACNで報道されました。

※天草高校HP(<http://sh.higo.ed.jp/amakusa/>)をぜひ御覧ください。